

I 教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○よく考えて進んで実行する子</li> <li>○豊かな心をもち、仲良く助け合う子</li> <li>○健康で粘り強い子</li> </ul>	
II 経営方針	
目指す学校像	<p><b>みんなで作る 「笑顔」あふれる学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ こどもの「笑顔」…「自分大好き、友達大好き、学校大好き」「毎日楽しい」</li> <li>○ 教職員の「笑顔」…「教職員こそ最大の教育環境」との使命感 毎日が充実</li> <li>○ 保護者の「笑顔」…「安心して我が子を通わせられる」「学校に協力しよう」</li> <li>○ 地域の「笑顔」…「我が町の学校」との誇り 「学校を応援しよう」</li> <li>★ この笑顔のためにそれぞれの立場で力を発揮してみんなで作る学校</li> </ul>
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習習慣、基礎学力を身に付け、主体的・対話的に学ぶ子</li> <li>○ 思いやりがあり、自己肯定感・自己有用感が高い子</li> <li>○ 規範意識が高く、決まりを守り正しい行動ができる子</li> <li>○ 進んで体を鍛え、健康でたくましい子</li> <li>★ 本校イメージキャラクター「東陽太陽くん」の笑顔で元気な姿を目指す。</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こどもたちに確かな学力を身に付けられる授業力の高い教師</li> <li>○ 誇りと使命感をもち、こども・保護者に寄り添うことができ、信頼される教師</li> <li>○ 自分の個性を発揮して、こどもとともに成長する教師</li> <li>○ 組織の一員として自己の職責を自覚し積極的に学校運営に参画する教師</li> </ul>
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人も置き去りにしない＝「一人」を大切に、励ましに徹する</li> <li>○ 教育は「こどもの幸福」のためにあるとの理念を全ての根底とする</li> <li>○ 学校・保護者・地域の絆をさらに強くする</li> <li>○ 様々な危機を想定して危機管理体制を確立する</li> <li>○ 「選択と集中」の経営で無駄を省き、成果をあげる</li> <li>○ 限られた予算、人材を有効に活用する</li> <li>○ 国・都・区の動向や教育施策を正しく理解し、学校経営に反映する</li> </ul>

『教育推進プラン・江東（第3期）』

～「みんな、かがやく！」ことを目指し、「ともに」力を合わせて～

<5つの力>

1. 自ら学び考え行動する力
2. 困難を乗り越える力
3. 人権を尊重し他者を思いやる力
4. 社会へ主体的に貢献する力
5. 他者と協調・協働し人間関係を形成する力

<3つの指針>

1. こども主体で、「生きる力」を確かに育む教育
2. 一人一人を大切に、個性を伸ばす教育
3. 学校・家庭・地域が連携し、こどもたちの成長を支える環境づくり

<キーワード> 「ともに」

こどもたちが、主体的に、そして友達と「ともに」学び、「ともに」育つこと  
大人たちは、こどもたちのために「ともに」考え、「ともに」支えていくこと

### Ⅲ 経営目標

重点領域 1		確かな学力の向上
中期経営目標	問題解決的な学習過程を重視した授業により、主体的に学ぶ力の育成を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントにより教科横断的な学習を充実させ、こどもたちも教員もやりがいのある単元（ユニット）を創り出していく。</li> <li>・学校図書館と学習者用端末の活用により、児童が学びを成果として発信する学習活動に重点をおき、読解力・表現力・追究力の向上に努める。</li> <li>・こうとう学びスタンダード（国語・算数・英語）の確実な習得のために、より具体的な指導と繰り返しの取組を工夫する。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（児童側）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用端末の積極的・効果的活用により、読解力・表現力・追究力を高める。</li> <li>・タイピング検定を実施する。（中学年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業でタブレットを活用することが楽しい」と回答する児童を90%以上にする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の活用を推進し、調べ学習や読書活動への意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとに設定した読書量を超える児童の割合を85パーセント以上とする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、算数、英語、学び方スタンダードの確実な定着を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業がよくわかった」と回答する児童を90%以上にする。</li> </ul>

重点領域 2		豊かな情操の涵養
中期経営目標	生命を尊重し、互いに認め合えるように、全教育活動の充実を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ」「思いやり」に重点を置き、人権教育、道徳教育、環境教育の授業実践・日常活動の定着を図る。</li> <li>・全校での共通ルール、共通実践を意識し、組織的に取り組む。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（児童側）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して礼節、言葉づかい、あいさつ励行を重点とした生活指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や児童アンケートで「進んであいさつができる」との回答を85%以上にする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業の確かな積み重ねや SNS に関する指導により、行動の価値を知り多様性を受け止める心情を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめは絶対にいけない」と回答する児童を100%にする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級・学校との連携など、継続的・相互的な交流を計画的に進め、他者を認め尊重しようとする態度を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の意見と異なる考えを大切にしたい」と回答する児童を90%以上にする。</li> </ul>

重点領域3		健康・体力の増進
中期経営目標	体力や運動能力の向上を図るとともに、健康保持・増進やたくましい体の育成を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝、早起き、朝ご飯」を定着させ、家庭と連携した生活習慣の定着を推進する。</li> <li>・児童が主体的に運動に取り組み、健康づくりに励むことができるよう、目標に向かう学びを設定する。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（児童側）
1	・前期は「早起き」に、後期は「朝ご飯」にポイントを絞り、調査を年2回行う。	・「早寝、早起き。朝ご飯」は大切だと思うと回答する児童を90%以上にする。
2	・目標を具体的に設定した活動（校内ポッチャ大会、長縄チャレンジ、持久走ウィーク等）に全校で取り組む。	・「進んで運動に取り組んでいる」と回答する児童を90%以上にする。
3	・オリンピック・パラリンピックのレガシーに関連する授業（アスリート交流・ダンス・アカデミー等）を年間5回以上実施する。	・「あこがれや夢がある」「自分を高めたい」と回答する児童を90%以上にする。

重点領域4		保護者・地域との連携と開かれた学校づくりの推進
中期経営目標	地域に開かれた学校づくりを進め、外部の教育力を活かした教育を推進する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報発信を計画的に行い、充実させる。</li> <li>・地域学習の充実を図り、外部人材活用による教育活動の活性化を図る。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（児童側）
1	・学校の取組や児童の様子などについて、ホームページにより積極的に発信する。各学年・専科で、月に3回以上の更新を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの「学校からの情報発信」に関する肯定的回答を90%以上にする。</li> <li>・HPトータルアクセス330,000を目指す。</li> </ul>
2	・折り紙教室や図書ボランティアによる読み聞かせ等、外部人材活用を各学年3回以上実施する。	・ゲストティーチャーによる講演、授業が楽しいと回答する児童を90%以上にする。
3	・「地域を学び、地域で学ぶ」取組を積極的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域行事に参加したい」と回答する児童を85%以上にする。</li> <li>・「東陽小が好きだ」と回答する児童を90%以上にする。</li> </ul>